

平成30年

目黒区教育委員会

第3回定例会会議録

(平成30年1月23日開催)

第3回目黒区教育委員会定例会会議録

開催年月日 平成30年1月23日

開催場所 教育委員会室

出席委員	教育委員会教育長	尾崎 富雄
	教育委員会教育長職務代行者	笹尾 敦夫
	教育委員会委員	中山 ひとみ
	教育委員会委員	後藤 幸子

出席職員	教育政策課長	山野井 司
	学校統合推進課長	増田 武
	学校運営課長	村上 隆章
	学校施設計画課長	照井 美奈子
	教育指導課長	田中 浩
	教育支援課長	酒井 宏
	統括指導主事	寺尾 千英
	統括指導主事	古舘 秀樹
	生涯学習課長	馬場 和昭
	八雲中央図書館長	石松 千明

書記		小野塚 幸隆
		山東 隆博

(議事日程)

- |      |      |                          |
|------|------|--------------------------|
| 日程第1 | 報告事項 | 平成30年度教育行政運営方針（たたき台）について |
| 日程第2 | 報告事項 | 平成29年度目黒区教育委員会児童生徒表彰について |
| 日程第3 | 報告事項 | 平成29年度茶道体験教室の実施結果について    |
| 日程第4 | 報告事項 | 平成29年度小・中学校祝辞について        |
| 日程第5 | 報告事項 | インフルエンザによる学級閉鎖の状況について    |

(午前9時30分開会)

○教育長 第3回目黒区教育委員会定例会を開会いたします。本日の欠席委員は櫻井委員です。欠席職員は教育次長です。署名委員は中山委員です。

昨日の大雪につきましては、皆さん大変ご苦労さまでございました。本日報告事項の後に昨日の対応、本日現在の直近の状況等について、情報提供させていただく予定です。

それでは、日程第1を議題とします。

(日程第1 平成30年度教育行政運営方針(たたき台)について(報告事項))

○説明員 (資料により説明)

○教育長 この件についてご質問等はございますか。

○委員 1-5-4で、30年度新規のものとして、ハイパーQ Uアンケートの試行がありますけれども、このいじめや不登校の未然防止、解消のため、よりよい学校生活と友達づくりのためのアンケートというのは、今までにないものを行うということでしょうか。

○説明員 ご指摘のとおり、今回行わせていただくこのハイパーQ Uアンケートは、これまで実施していないものでございまして、中学校区2校区の中学校と小学校を対象に、主に高学年の子どもたちに学級での居心地度、あるいは、ソーシャルスキル度をアンケートで年に2回調査して、子どもたちの今の状況を把握し、学級改善に努めるための道具にしていくというものでございます。

○委員 別紙の頭に、効果的・効率的な施策の推進に、P l a n、D o、C h e c kのことが書かれていまして、基本姿勢は大いに進めていただきたいと思います。子どもの「生きる力」をはぐくむ学校教育の推進で、個別指導の充実が非常に画期的というか、ぜひ進めていただきたいなと思っております。

1-1-1の下線を引いてある保護者との個別学習相談を実施する。その下の授業改善プランを作成した指導方法の工夫・改善を図るという形になっていますが、このP l a n、D o、C h e c k、A c t i o nが読みにくいと思います。

その保護者との個別学習相談をどういう形で実施するか、もう少し具体的な計画を入れたほうがいいのかという印象で

す。同じように、指導方法の工夫・改善は当然のことですので、工夫・改善の方向性や内容、具体的なところが見えるような形で肉づけをするなどの工夫をもう少ししていただきたいと思います。

○説明員 一般の方、保護者の方、区民の方が見ても概要がわかるような形になるよう検討させていただきたいと思います。

○教育長 このカリキュラムマネジメントについては、新学習指導要領の告示内容に即したものですので、別途取り出して、どこかの時点で報告していただきたいと思います。

○委員 資料1の31ページの区立中学校の適正規模の確保と適正配置の推進で、前年度と今年度を比べると、昨年度は統合実施策を取りまとめ、統合方針を改定するよう検討するということがあったのですが、来年度は統合方針を改定すると言い切っているのに、29年度は改定を検討ですが、30年度は統合方針を改定すると一歩進むという理解でよろしいでしょうか。

○説明員 統合につきましては、今まとめております実施計画の中で、次年度以降の取組み内容を新たに見直したところがございます。その中で平成30年度は統合方針の改定を行うものとし、これに向けて進めていくことを記載しておりますので、そういった内容に合わせて、教育行政運営方針をまとめたものでございます。

○委員 そうすると、統合方針を来年度中に改定をきちんと行う、結果まで出すという理解でよろしいですか。

○説明員 ご指摘のとおり、統合方針を改定することで考えているものでございます。

○教育長 本件に関しましては、まず統合方針の改定に向けて、どう進めていくかをあらかじめ教育委員会に別途ご報告していただきたいと思います。具体的にその実施計画の中身だけでは内容がわからない形になっていきますので、進め方については、別途教育委員会でご論議をいただく予定です。

最終的には総合教育会議の議題になる可能性もありますので、進め方についてまた報告をお願いしたいと思います。

○委員 統合方針を改定する具体的な内容として、2校程度とするという表現ではなくて、2校に絞り込むという表現ではないのでしょうか。平成30年度に改定するという趣旨からすれば、2校に絞り込むという方針になったのかと思いますけれどもどうなのでしょう。

○説明員 現行の統合方針においては、4校を2校程度にするということであり、まだ検討段階にありますことから、このように表記してございます。

今後、統合方針の改定に向けまして、保護者や地域の皆様に説明する段階で、具体的な統合の内容をお示しすることになるかと存じております。

○委員 2校に絞り込むという表現は、正しくはないということですか。

○説明員 平成30年度に予定してございます統合方針の改定の中で、具体策としてあらわすものと考えてございます。

○教育長 その他ご質問等ございますか。  
特にないようですのでこの報告を受けました。  
次に日程第2を議題とします。

(日程第2 平成29年度目黒区教育委員会児童生徒表彰について(報告事項))

○説明員 (資料により説明)

○教育長 この件についてご質問等はございますか。

○教育長 実際に各学校からの推薦は、これ以上にあったけれども、この1ページの表彰基準に照らして、今回の被表彰者を選定したということです。

また、従来は表彰文を全て教育長が読んでいましたが、文章が長いので、今回から大会名等については司会者で行い、私からは学校名と学年とお名前とお祝いの言葉を添えて、お渡しするというにしたいと思っております。

○教育長 その他ご質問等ございますか。  
特にないようですのでこの報告を受けました。  
次に日程第3を議題とします。

(日程第3 平成29年度茶道体験教室の実施結果について(報告事項))

○説明員 (資料により説明)

○教育長 この件についてご質問等はございますか。

○委員 茶道教室に関しまして、私も拝見をさせていただきました。

課題にも書かれていましたが、茶道は奥が深いので、例えば最後の炭の話は、子どもたちには難しかったと思います。ですので、

私の要望としては、公平性もあると思うので、ここの3校の6学年は3回学べたけれども、ほかの学校の子どもたちは、お茶をたてて飲むことを経験しないわけです。できたらこのトータルの9回を各学校へばらしていただいて、1回でもいいから、茶道に触れるというところも考えてほしいと思いました。

あと、講師の方がご年配の方なので声が小さく、聞こえなくて子どもたちが話しているところもあって、講師の方によって指導にばらつきがあったかと思います。

これは比較的大きな予算額がとられていたかと思いますので、こういう教室、研修等を実施するときは、費用対効果というものが求められると思いますので、もう一度検証をしていただいて、多くの子どもたちに貴重な体験をしてほしいと思います。

○説明員      たくさんの学校に体験をというお話でございましたが、今回は3回実施したことで、子どもの感想にもございますとおり、だんだんより深く学んでいる様子も見られます。

また、回数を分けてという相談を少ししているところですが、道具が多くございまして、この運搬をどうするかという問題もございまして、今回は実施校に年間を通して道具を置かせていただいて、最後に回収するという形をとらせていただいたところもございまして。

こういった点なども相談しながら、解決をしていければと考えております。

○委員      何度もお茶の道具を出したり、運んだりすることは難しいと思いますので、3回を深く学んでいくというところのほうがいいとも思いますけれども、多くの子どもたちに少しでも思いました。

だんだん深く学んでいるという様子もわかりましたけれども、お茶を最後に自分たちもたてるんですけども、非常に難しく、なかなかできていないし、子どもたちには難しいと思ったので、お茶をたててもらったものを飲むというところ、わび、さびというところ、一期一会というところのメインのところだけでも、たくさんの子どもに学んでもらえたらなという感想を持ちました。

○教育長      その他ご質問等ございますか。

特にないようですのでこの報告を受けました。

次に日程第4を議題とします。

(日程第4      平成29年度小・中学校祝辞について(報告事項))

- 説明員 (資料により説明)
- 教育長 この件についてご質問等はございますか。
- 教育長 スケジュールの確認ですけれども、教育委員会のスケジュールはどのようなスケジュールになりますか。
- 説明員 1月30日、2月6日、2月13日で方向性が出るかどうかというところで、最終的には2月20日を考えてございます。
- 教育長 ここで、文案まで確定ということですね。
- 説明員 そのとおりです。
- 教育長 昨年はインパクト、コンパクトという合言葉のもとに、かなりいいものを作っていただきましたけれども、今回、主題例が小学校で5つ、中学校で5つ、小・中共通で5つということです。今日はフリーディスカッションということで、お願いをしたいと思います。
- 委員 校長先生の話が事前にわからないものですから、校長先生のインパクトのある話の後で、聞いている子どもたちの反応が、校長先生のと違うなという印象を受けました。
- 校長先生の話は子どもたちの身近なテーマではないかと思えますので、私たちもできれば身近なテーマがいいと思えます。
- 小学校の幾つかのテーマの中で、推薦したいと思ったのは、今年の干支の犬です。皆さんもご存じだと思いますけれども、犬のロボットをある程度安い価格で売り出しているということがありまして、この犬の持っている人間との暮らしの癒しの存在が、AIに生かされて、ロボットで出てくる。これもおもしろいテーマではないかと思えます。
- ほとんどの子どもたちが猫か犬をかわいがっているのではないかと思います。ですから、テーマの中にそのロボットのこと、AIにも触れるような内容でコンパクトにまとめていただければと思います。
- 中学校は駅伝です。
- これは、ある意味では生徒たちに身近なテーマが選ばれているということになるのではないかと思うので、駅伝を勧めたいと思っております。
- 委員 校長先生のお話は身近な、今まで自分を相対で見てきてくれた先生のお話で、その校長先生とも最後にお別れするという特別な意味があるので、一生懸命聞くとおもいます。



しかし、教育委員会は子どもたちにとっては別の存在なので、そこは温度差があっても構わないと思います。来賓という形で来た人の話をこれから子どもたちは色々な場面で聞いていかなくてはいけないので、校長先生とライバル意識を持たなくてもいいと思っています。

ただ、子どもたちに印象を残したい。初めて会った人でも心に残る話ができればそれが一番だと思いますけれども、子どもたちにとって具体的なイメージが湧く話でないと、なかなか子どもたちには、一般論的話をしても難しいので、具体例が出てくるものが多いと思います。

そういう面でいくと、例えば1つずつのテーマでいけば、この折り紙も、子どもたちは誰でも知っているので、その折り紙が発展してきたというのであれば、素材としては書けると思います。

それから、桜を守る人々は、これはマニアックな感じがします。

将棋は、話題になっているところで、子どもたちの年令に近い藤井聡太さんが活躍したということもあるし、羽生竜王が永世7冠を取ったということもあるので、これをどう書くかは難しいと思います。

犬のことはよくわからないのですが、確かにロボットと結びつけるのはおもしろい発想と思いました。

中学校ですけれども、今年取り上げるのでしたら、金沢だと思うので、この「守破離」はおもしろいと思います。中学生だったらそれなりにおもしろい書き方ができると思いました。これは今年が目黒区としての大きな成果だったわけなので、取り上げるとしたらこれは1つ候補だと思いました。

スポーツ界は、桐生さんにしても張本さんにしても、強い大会で勝ったからというところがあるので、それを超えてどう心に残る話につなげるのかは、なかなか難しいなという気がしています。

#### ○委員

子どもたちのことを想像しながら聞いていたのですが、私も、小学生は具体的に頭の中で映像が浮かぶようなものが多いと思いますし、中学生は、興味・関心が持てるようなものが多いと思っています。

その中で、藤井聡太四段のことは耳に入るだろうし、顔を上げるだろうと思います。そこからの羽生竜王の話に持っていくというところですが、羽生竜王は永世7冠を取ったということは子どもたちは知っていると思いますので、もしかしたら興味を

持ってもらえるかなと思います。

あとは、フェルトや桜は、なかなか頭の中で想像がしにくいと思っております。

中学生に関しては、今年としては友好都市金沢とのこともあります。「守破離」は、言葉を知っている子どももいるかもしれませんが、意味を知っている、深く知っている子どもはいないと思うので、興味、関心を持ってもらえると思いました。

それとよく似たことで、「大器晩成」も、大きな器が完成するまで時間がかかるものだということまでしか知らないと思うので、今後、高校に出ていく子どもたちの可能性を広げるところで、いいかなと思います。

スポーツ界は、桐生さんにしても卓球の張本さんにしても、一流だから自分とはかけ離れていると思う子どもも少なくないと思います。自分たちとは別物だと捉える子どもも少なくないので、できれば多くの子どもが興味、関心を持ってもらえる題材がいいと思いました。

ですので、駅伝もいいのかもしれませんが。日本にしかない競技ということで、子どもたちも改めて駅伝を想像し、色々な人が活躍し、それが社会貢献に値するという持っていく方もできるかと思えます。

○教育長 今日、まず第1回目でございますので、題材例についてさらに検討していただいて、どういうところにインパクトを持たせるか、その書きぶりをもう少し工夫していただきたいと思えます。

その他、何かございますか。

特にないようですのでこの報告を受けました。

次に日程第5を議題とします。

(日程第5 インフルエンザによる学級閉鎖の状況について(報告事項))

○説明員 (資料により説明)

○教育長 この件についてご質問等はございますか。

特にないようですのでこの報告を受けました。

○教育長 雪の状況について報告をお願いします。

○説明員 雪の状況ですけれども、昨日は小学校は土曜日に行った学校公開の振り替えで、9校が休んでいるという状況でした。その他は授業については平常どおりで、中学校の部活動は中止、あるいは

短縮で早く帰らせたといった状況です。

それから、社会教育館、図書館についても、大橋図書館と八雲中央図書館以外は休館日という状況でしたが、大橋図書館、八雲中央図書館とも、平常どおりでした。

本日ですが、登校から平常どおり授業を行っています。その他社会教育館、図書館についても平常どおり開館をしているといった状況です。

そのほか、人的被害の報告もございませんし、大きな物的な損傷の報告もない状況です。

○教育長

ありがとうございました。

事前の対応もよかったと思いますし、これまでの蓄積が生かされたと思います。大きな問題もなく、よかったと思いますけれども、何かご質問ございますか。

よろしいですか。ありがとうございました。

以上で本日の定例会を閉会します。

(午前10時46分閉会)